



TOEIC(R)/TOEICBridge(R) I P テスト実施報告：  
TOEIC受験奨励制度運用3年を振り返って

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-12-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 川村, 珠巨 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24729/00007565">https://doi.org/10.24729/00007565</a>

# TOEIC®/TOEIC Bridge® IP テスト実施報告 —TOEIC 受験奨励制度運用 3 年を振り返って—

川村珠巨\*

A Report on the Administration of the TOEIC®/TOEIC Bridge® IP Tests at OPUCT

Tamami KAWAMURA\*

## 要旨

本校では現在、1年生から4年生の全員が TOEIC Bridge® IP テストを年一回受験している。このテストで 140 点に達すると、翌年の TOEIC® IP テストを無料で受験できるようになっている。また、TOEIC® IP テスト<sup>1)</sup>で、一定の点数に達した者（もしくは相当級の英検に合格した者）は表彰の対象となる。これらはいずれも、平成 21 年度に制定された TOEIC 受験奨励制度に基づくものである。本稿では、制度導入に至った経緯を振り返るとともに、導入後 3 年間の実績について報告する。

**キーワード:** 外部テスト、TOEIC® IP テスト、TOEIC Bridge® IP テスト

## 1. はじめに

TOEIC 受験奨励制度（表 1）が、本校に本格的に導入されて 3 年が経過した。制度導入までの経緯と導入後の実施状況を報告するとともに、府大高専における英語教育を考える上での一資料としたい。

表 1 TOEIC 受験奨励制度内規  
(一部抜粋、全文は付録に記載)

(制度)
第 3 条 本制度は、次に掲げる事項から成る。
(1) TOEIC Bridge 一斉受験
(2) TOEIC Bridge スコアによる優遇措置
(3) TOEIC スコアによる表彰

## 2. 外部テスト導入の経緯

### 2.1 ACE テスト

本校では、平成 15 (2003) 年、ACE (Assessment of Communicative English) テストという外部テストを初めて導入した。英語運用能力評価協会が作成する、主に高校生を対象とした英語運用能力テストである。入学生の学力格差が広がり、授業や補充指導の重点を学力不振者

に置くようになったため、学力中・上位者の対応が課題となってきた。その対応の一つとして始めたのが外部テストであった。テスト実施はもとより、受験者の受け付けや受験料の徴収、協会への申込み、受験料の支払いなどの事務手続きも、すべて英語科で行った。希望者を対象に、平成 15 年から 3 年間で計 4 回実施し、のべ 204 人の学生が受験した。

### 2.2 TOEIC®/TOEIC Bridge® IP テスト

平成 17 (2005) 年に専攻科が設置され、「TOEIC で 400 点相当以上の能力を備えていること」が修了要件の一つになったのを機に、平成 18 (2006) 年度に国際ビジネスコミュニケーション協会 (以下 IIBC) の賛助会員登録を行った。これにより、「団体特別受験制度」(Institutional Program、以下 IP) を活用できるようになり、平成 18 (2006) 年から、TOEIC®および TOEIC Bridge®について、公開テストより格安な IP テストを本校で実施できるようになった。

TOEIC®のスコアを必要とするのは、進学・就職をひかえた 4、5 年生や専攻科生であるため、平成 18 年から現在に至るまで、希望者を対象に実施している。平成 22 (2010) 年度実施の専攻科入試から、英語の筆記試験に代えて TOEIC スコアを提出させている。

TOEIC Bridge® IP テストも、ACE テストに代わるものとして、希望者を対象に実施していたが、平成 20 (2009) 年、2~4 年生全員に対する一斉テストの実施を始めた。学生は、スコア返却時に、学年毎の平均点や、得点分布

2013 年 8 月 19 日 受理

\* 総合工学システム学科 一般科目文系  
(Dept. of Technological Systems: Liberal Arts)

を見ることにより、自分の位置を確かめ、少なからず刺激を受けているようであった。また、英語科教員にとっても、学生の英語力を客観的に把握するデータを収集する機会となっている。平成22(2010)年度からは1年生にも受験させている。

### 2.3 TOEIC®受験奨励制度

平成21(2009)年、英語学習を奨励するための制度をつくるよう学校長から指示があり、上述の「TOEIC 受験奨励制度」と「高専英語プレゼンテーションコンテスト出場奨励制度」から成る「英語学習奨励制度」が設けられた。

この制度によって、TOEIC Bridge® IP テストのスコアが140点以上の者は翌年のTOEIC® IP テストを一回無料で受験できるようになった。また、TOEIC® IP テストにおける申込み受け付けや受験料徴取などの事務手続きは、従来の本校給品部から本校総務課へ、またIIBCへの受験申込み、テスト当日の運営などは、それまでの専攻科英語科目担当者(専門科目教員)から英語科へそれぞれ引き継がれた。TOEIC Bridge® IP テストの事務手続きについては、導入当初から本校学生課が行っている。

この年、2~4年生の589人中、76人が140点以上を得点し、翌年のTOEIC 無料受験の権利を獲得した。各学年の平均点は次に示すとおりである。

#### 平成21(2009)年度

	全国の高等専門学校				本 校			
	受験者数	平均点			受験者数	平均点		
		Total	Listening	Reading		Total	Listening	Reading
1年生	2703	113.7	57.9	55.8				
2年生	2421	118.9	59.9	59	205	120.3	59.8	60.5
3年生	2144	122.5	61.5	61	190	123.9	60.8	63.1
4年生	366	123.1	60.8	62.3	194	126.7	61.8	64.8
全体含5年	7763	118.2	59.7	58.5	589	123.5	60.8	62.7

## 3. TOEIC Bridge® IP テスト 過去3年間の記録

### 3.1 高専生の平均点

平成22(2010)年から、毎年12月、後期中間試験終了後の1~2週間の間に、1~4年生全員が、英語の授業の一環として、TOEIC Bridge® IP テストを受験している。

3年間を通じて、どの学年の平均点も、全国の高専の平均点より高く(図1)、また全国の高専全体の平均点が3年間で、あまり変化していない(平成23年度の前年比+0.3、平成24年度の前年比-0.1)中、本校は平成23

年度の前年比+1.2、平成24年度の前年比+0.9という伸びを示している。進学や就職、あるいは就職後の昇任・昇格等に TOEIC スコアが広く利用されていることや、TOEIC Bridge® IP テストのスコアを英語科目の成績評価に加味していることなどにより、TOEIC®やTOEIC Bridge®に対する意識が高まってきたことがスコアにも反映されていると考えられる。学年が上がるにつれて、Listening、Reading、Total いずれのスコアも伸びており、とくにListeningについては、2年生のCD教材を使ったリスニング学習や3~4年生で行っているCALL教室のe-Learning教材を利用したリスニング演習の効果があると思われる。

一方、4年生のReadingスコア(平成23、24年度)の伸びが他学年に比べて小さいが、これは1年生から3年生まで週5~4時間あった英語の授業が4年生で2時間に半減することの影響が大きいのではないかと推測している。大半の学生が家庭学習をしないという(残念な)現実を考えると、英語に触れる時間に比例した結果であると言えよう。

#### 平成22(2010)年度

	全国の高等専門学校				本 校			
	受験者数	平均点			受験者数	平均点		
		Total	Listening	Reading		Total	Listening	Reading
1年生	2762	114.4	59.7	54.7	200	119.3	60.6	58.7
2年生	2488	118.8	61.5	57.3	203	121.6	61.6	60.0
3年生	2519	119.2	61.6	57.6	203	124.3	63.0	61.4
4年生	368	122.3	62.7	59.6	196	128.1	64.9	63.2
全体含5年	8254	117.6	61.0	56.6	802	123.3	62.5	60.8

#### 平成23(2011)年度

	全国の高等専門学校				本 校			
	受験者数	平均点			受験者数	平均点		
		Total	Listening	Reading		Total	Listening	Reading
1年生	3131	112.7	58.2	54.5	163	118.7	60.2	58.4
2年生	2572	119.6	61.1	58.5	198	123.7	61.6	62.0
3年生	2551	121.7	61.5	60.2	203	126.5	63.3	63.2
4年生	364	123.4	62.4	61	206	127.9	64.0	63.9
全体含5年	8630	117.9	61.0	57.7	770	124.5	62.4	62.1

#### 平成24(2012)年度

	全国の高等専門学校				本 校			
	受験者数	平均点			受験者数	平均点		
		Total	Listening	Reading		Total	Listening	Reading
1年生	3448	113.6	59.0	54.6	162	118.4	59.6	58.8
2年生	2802	118.4	60.6	57.7	164	124.4	62.5	61.9
3年生	2797	121.6	62.0	59.6	189	127.1	63.3	63.8
4年生	378	125.6	63.7	61.9	208	129.9	65.0	63.9
全体含5年	9427	117.8	60.5	57.3	723	125.4	62.8	62.6

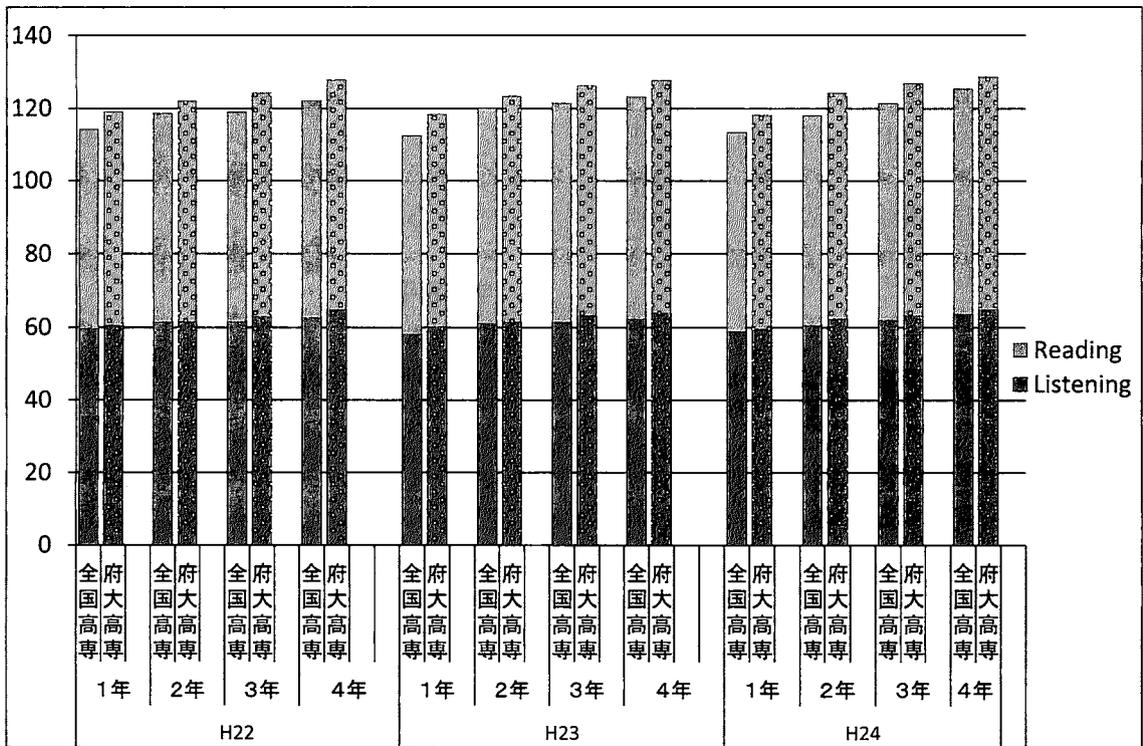


図1 TOEIC Bridge® IP テスト平均点の比較

### 3.2 職種別平均点

一般的にはあまり聞きなれない TOEIC Bridge®であるが、資料<sup>2)</sup>によると、平成 24 (2012) 年度、日本では、個人による受験のほか、約 540 の企業や団体、学校で採用されている。

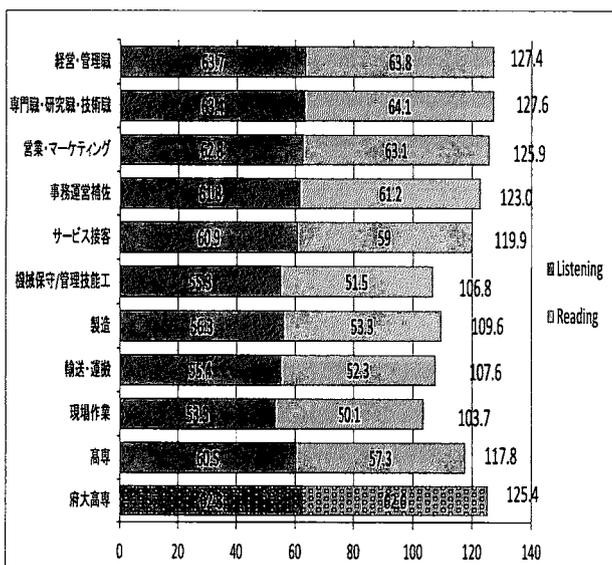


図2 職種別平均点 (2012 TOEIC Bridge® IP テスト)

平成 24 (2012) 年度 IP テスト (年間受験者総数 203, 717 人) における職種別平均点に関するデータに、全国の高専と本校の平均点を並べたものを図2に示す。本校学生の得点は、機械保守/管理技能工や、製造、現場作業など彼らの主な就職関連分野の平均点と比較すると 15~20 点高く、さらに専門職・研究職・技術職と比べても遜色ない平均点となっていることがわかる。

### 3.3 140 点以上で TOEIC® IP テスト無料受験

先に述べた「TOEIC で 400 点相当以上の能力を備えていること」という専攻科修了要件や特別学修 (TOEIC) による単位認定が 400 点以上であることなどから、TOEIC 400 点というのが本校学生の最初の目標スコアとなる。そこで英語科は、IIBC が公表している TOEIC Bridge® と TOEIC® テストのスコア比較表 (表 2) において、400 点にもっとも近い 395 点に相当する TOEIC Bridge® IP テスト 140 点以上を無料受験の機会を与える条件に設定した。こうして平成 22 年 (2010) 年度から、TOEIC 受験奨励制度による TOEIC® IP テスト無料受験が始まった。

表2 TOEIC Bridge と TOEIC のスコア比較表

TOEIC Bridge®	90	100	110	120	130	140	150	160
TOEIC®	230	260	280	310	345	395	470	570

TOEIC Bridge® IP テスト 140 点以上の得点者は毎年増え (図3)、また無料受験の機会を利用した者の割合も、平成 22 年度から平成 24 年度まで、60.5% (76 人中 46 人が受験)、72.6% (84 人中 61 人)、75.0% (100 人中 75 人) と着実に増えてきている。一方で、せっかく無料で、しかも校内で受験できる機会を 25% (25 人) もの学生が放棄しているのはもったいなく、また残念な話である。

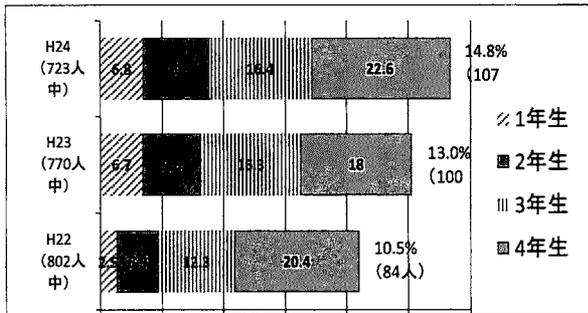


図3 TOEIC®テスト無料受験該当者割合

#### 4. TOEIC® IP テスト 過去3年間の記録

##### 4.1 実施状況

TOEIC 受験奨励制度施行後の TOEIC® IP テスト受験者数は表3に示すとおりである。年間のテスト回数としては5~6回くらいが妥当だと感じている。

表3 TOEIC IP テスト受験者数

	H22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
	実施日	受験者数	実施日	受験者数	実施日	受験者数	実施日	受験者数
第1回	4/21	31	4/20	50	4/18	46	4/24	37
第2回	5/19	24	6/15	44	6/27	55	6/12	35
第3回	6/16	25	7/13	27	9/12	20	7/10	25
第4回	7/14	37	10/5	23	10/31	49	10/9	
第5回	10/13	28	11/16	39	1/16	106	11/20	
第6回	11/24	58	12/21	129			1/15	
第7回	12/22	75						
受験者数	278		312		276			
うち無料受験者	46		61		75			
無料受験該当者受験率	46/76		61/84		75/100		/107	
	60.5%		72.6%		75.0%			

年間1回以上TOEIC® IP テストを受けた学生を調べると、平成 22 年度 196 人 (在学生数の 18.9%)、平成 23 年度 238 人 (同 23.2%)、平成 24 年度 205 人 (同 20.5%) であった。

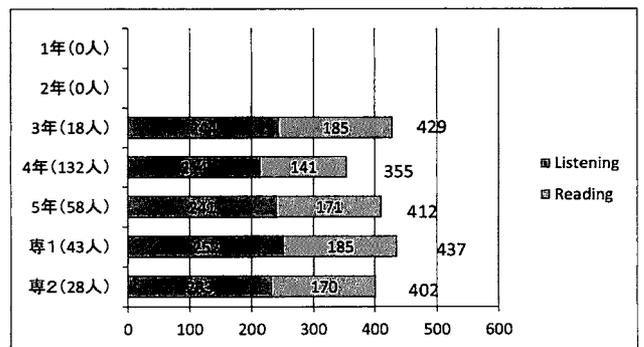
この2割程度の受験率を高いとみるか、低いとみるか

であるが、前述したようにTOEIC Bridge® 140 点がTOEIC® 移行への目安だと指導しているので、低学年の受験者はかなり限られている。受験率を計算する際の分母には低学年の学生数も含まれているので、例えば4~5年と専攻科生に限定して計算すればもう少し高くなることは間違いないであろう。

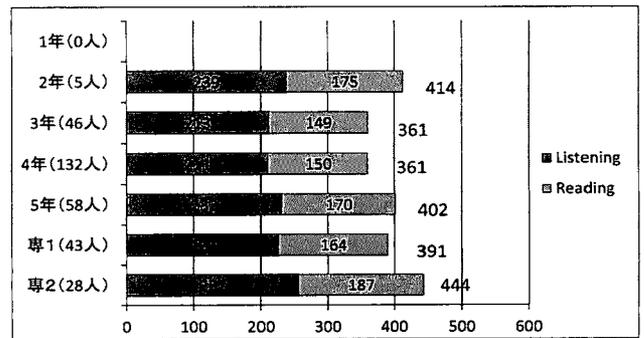
##### 4.2 学年別平均点

過去3年間の TOEIC® IP テストの平均点は 390 点であった。学年別の内訳を図4に示す。全国の高専の平均点 347 点 (平成 24 年度) に比べると 43 点も高い。

平成 22 年度 Listening 233 Reading 165 Total 398



平成 23 年度 Listening 222 Reading 159 Total 381



平成 24 年度 Listening 226 Reading 164 Total 390

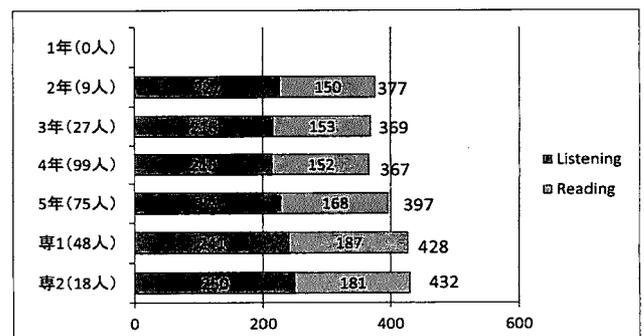


図4 TOEIC® IP テスト 学年別平均点

### 4.3 職種別平均点

技術者として必要とされる TOEIC®スコアはどの程度なのか。資料<sup>2)</sup>に平成 24 (2012) 年度に実施された TOEIC® IP テストにおける職種別平均スコアが示しており、たいへん興味深い。このデータに、全国高専および本校のデータを加えた形でグラフにしたものが図 5 である。

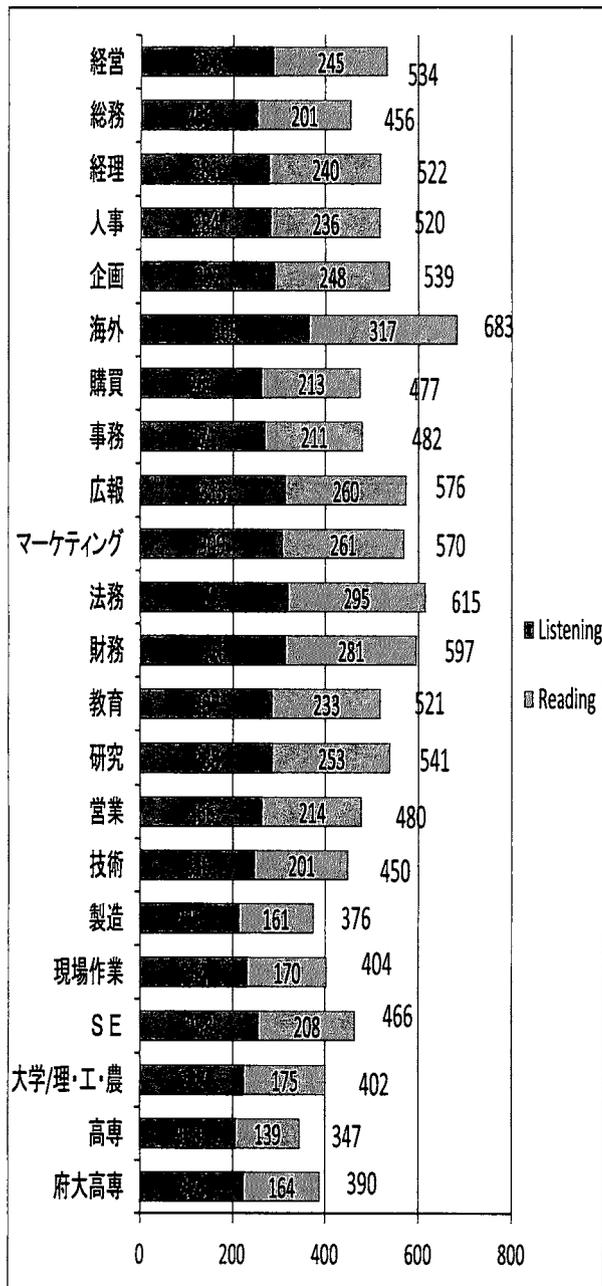


図 5 職種別平均点  
(2012 TOEIC® IP テスト)

高専全体の平均点 347 点や大学の理・工・農学系の平均点 402 点からすると、本校の平均点 390 点というのは決して低くはない。本校を卒業後、編入学した大学で「高

専生は英語ができない」と言われているようだが、「TOEIC スコアを見る限りにおいては、さほど悲観する必要はない」と言ってもよさそうである。

### 5. おわりに

TOEIC®で高得点をとることが英語学習の最終目標になってはならないが、自分の英語力を客観的に測定しながら、次に達成すべき目標を得るために TOEIC®のような外部テストを活用することは有効である。事実、TOEIC®テストで表彰の対象になる 600 点を超えることを目標に挙げて達成した者も少なからずいるし、900 点を突破した者や毎回 700 点を超える者もいる。

一方、授業で実際に感じる学生の英語力を顧みると、やはり TOEIC®テストで測れるのは英語力の一側面だということは否めない。例えば、TOEIC®600 点以上の学生が書いた英文に主語がなかったり、S+V+V という「新文型」が使われていたり、日本語の語順のまま英単語が並べられていたりするのが現実である。客観式の外部テストの限界と可能性を勘案し、TOEIC SW®テストなども視野に入れながら、英語教育の本来の目標である「英語でコミュニケーションできる」学生を育てるためには何ができるかを考えていきたい。

### 謝辞

英語学習奨励制度発足を促してくださった前校長の長澤啓行先生、ならびに同制度の運用をご支援くださっている本校後援会に感謝いたします。

なお本校のこの取組みが、TOEIC Bridge® Newsletter No. 17 July 2010 「特集 大学・高専における TOEIC Bridge®の活用 基礎力を重視し、段階的指導で実践的な英語力の向上を図る」の中で紹介されたことを付しておきます。

### 注

<sup>1)</sup> IP テスト 公開テストに対して、企業が学校で実施する「団体特別受験制度」によるテスト

<sup>2)</sup> 一般財団法人 国際コミュニケーション協会編纂、TOEIC®プログラム DATA & ANALYSIS 2012、2013

付録

年度	外部テスト	英語学習奨励制度制定に関する学内のうごき	語学学習設備
H2 1990			語学学習教室(LL教室)更新 SONY LLシステム導入
5			
H15 2003	ACEテスト スタート (希望者)		
H17 2005	~H17年度まで	専攻科設置 修了要件 にTOEIC400点以上	CALL教室設置 内田洋行 PC@LLシステム導入
H18 2006	TOEIC Bridge IPテスト スタート (希望者) TOEIC IPテスト スタート (希望者) ~現在に至る	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 賛助会員登録	
H20 2008	TOEIC Bridge IPテスト 2~4年生全員一斉受験		
H21 2009	~H21年度まで	専攻科入学選抜におけるTOEIC スコア提出を告知 英語学習奨励制度公表 プレコン近畿地区大会1名出場 (5位入賞)	
H22 2010	TOEIC Bridge IPテスト 1~4年生全員一斉受験 ~ 現在に至る TOEIC IPテスト において無料受験スタート ~現在に至る	専攻科入学選抜において、英語の筆記試験に代わるTOEICスコアの提出 英語学習奨励制度活用スタート プレコン近畿地区大会2名出場 (うち1名優勝) プレコン全国大会1名出場	CALL教室移転 CHleru CaLabo EXシステム導入
H23 2011		プレコン近畿地区大会2名出場 (優勝、準優勝) プレコン全国大会2名出場	
H24 2012		プレコン近畿地区大会1名出場 (5位入賞)	

TOEIC 受験奨励制度内規

(目的)

第1条 本内規は、本校学生の英語学習意欲と英語力の向上を図る施策の一環として、TOEIC、TOEIC Bridge、ならびにそれらに準ずる英語運用能力テストの受験を奨励するための制度を定めるものである。

(名称)

第2条 本制度の名称は、「TOEIC 受験奨励制度」とする。

(制度)

第3条 本制度は、次に掲げる事項から成る。

- (1) TOEIC Bridge 一斉受験
- (2) TOEIC Bridge スコアによる優遇措置
- (3) TOEIC スコアによる表彰

(一斉受験)

第4条 本科1~4年生にTOEIC Bridge (IPテスト)を年1回、一斉に受験させる。

2 本テストの実施要領は別途定める。

(優遇措置)

第5条 前条のテストのスコアが140点に達した学生には、TOEIC (IPテスト)を1回無償で受験できる機会を付与する。

(表彰)

第6条 表彰規程第2条(3)に基づき、TOEICのスコアが600点(もしくは英検2級)に達した学生には表彰状と副賞(図書カード5千円分)

を付与する。同じく、730点(もしくは英検準1級)に達した学生には表彰状と副賞(図書カード1万円分)を付与する。

(費用の負担)

第7条 第5条および第6条に係る費用は、本校後援会費の支援による。

附 則

平成22年3月17日制定。ただし、(本規定の趣旨を公表した)平成21年11月9日から発効しているものとする。

英語学習奨励制度 活用実績

TOEIC受験奨励制度

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
賛助会員年会費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 100,000
受験料補助* @3,090		46名	61名	75名
副賞**	3名	17名	5名	12名

\*TOEIC 受験奨励制度内規第5条参照

\*\*TOEIC 受験奨励制度内規第6条参照 ただし年度末に自己申告した者に限る

プレコン出場奨励制度

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
近畿地区大会	1名	2名	2名	1名
全国大会		1名	2名	

第1回ACEテスト結果 公開資料

《参考》前回の「A. C. E. テスト」の結果

■99名が受験、最高得点は727点(900点満点)

昨年12月12日(金)に実施した、本校での第1回A.C.E.テストは99名(府立高専生の約1割)が受験しました。最高得点は727点(900点満点)でした。TOEIC受験の目安としていた600点に達している受験者は3名でした。また、500点以上の受験者は35名で受験者の約3分の1でした。(表1参照)

表1 順位表

順位	総合スコア	学年またはクラス(学年組)
1	727	3E
2	688	5E
3	655	4E
4	596	4B
5	593	4B
6	589	3B
8	585	4B
9	584	2B
10	559	3E
12	546	4A
13	542	2年
14	540	2年
15	539	3年
16	537	1年
19	532	3年
20	530	4・5年
21	528	2年
22	526	4・5年
23	525	4・5年
24	524	3年
25	522	2年
26	518	3年
28	517	4・5年
29	515	3年
31	513	2年
32	508	4・5年
33	503	4・5年
34	501	4・5年
35	500	3年
40	491	
50	478	
60	462	
70	443	
80	431	
90	405	

(4年または5年生は「4・5年」としています)

■学年別総合スコア散布図

右の表4は学年別の総合スコア散布図です。学年ごとに各個人の総合スコアの点数をドットで表しています。

1～3年の欄の

—— はACEが設定している最低到達目標、  
 - - - はACEが設定している高めの到達目標を表しています。

「英検取得平均スコア」欄の

..... は英検準2級取得者のACE平均スコア、  
 - - - は英検2級取得者のACE平均スコアを表しています。

■学年別平均点

表2の通りです。高校の全国平均を記入しています。本校は希望者による受験ですので、平均点を比較してもあまり意味はありませんが、参考として示しておきます。

表2 平均点

	受験者数	語彙(150)	文法(150)	リーディング(300)	リスニング(300)	総合(900)	全国高校総合スコア	全国高専総合スコア
1年	17	75	81	149	145	430	469	430
2年	26	78	71	176	161	485	471	445
3年	21	85	72	179	162	497	471	444
4・5年	35	85	71	176	163	494	—	457
全体	99	81	70	171	159	461	469	445

■分野別レベル分布

表3は語彙・文法・リーディング・リスニングの各分野別のレベル分布を表しています。本校の受験者は語彙・文法、特に文法が弱いようです。日常会話レベルではそれほど重要性を感じないかも知れませんが、上級になるほど文法がわかっていないとよい文章は書けないし、内容のある会話はできません。また、リーディングはもちろん、リスニングにも影響します。

表3 分野別レベル分布表

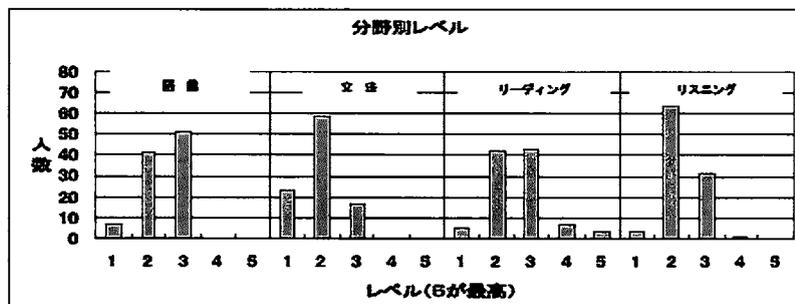
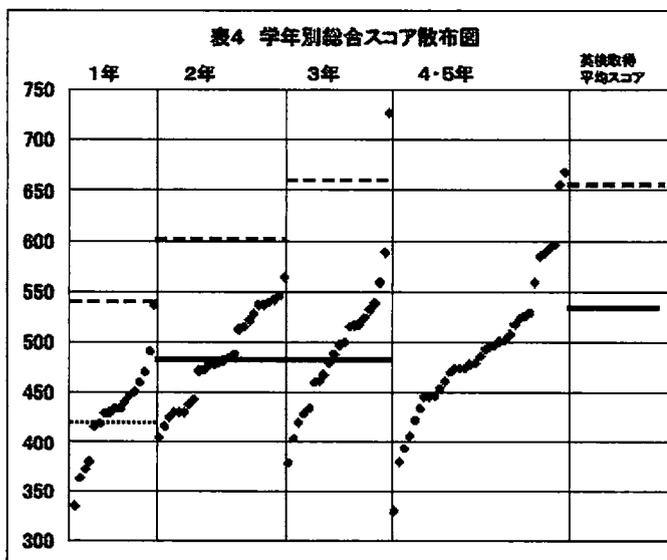


表4 学年別総合スコア散布図



## 第2回ACEテスト結果 公開資料

平成16年9月14日

## 第2回「ACEテスト」の結果について

府立高専 英語科

## ■43名が受験、最高は682点(900点満点)

7月16日(金)に実施した、本校での第2回ACEテスト(英語運用能力テスト)に43名が受験しました。補講期間であるとともに高専大会シーズン中ということが影響してか、受験者数は前回の約半数にとどまりました。その一方で、前回に引き続いてチャレンジした人が14名ありました。

最高点は4Eの水本君の682点でした。また低学年では、1年2組の尾御君が早くも600点を上回る好成績を納めました。

500点を越えた人は10名(23%)おり、そのうち3名(7%)はTOEIC受験の目安となる600点を突破しています。(表1参照)

表1 順位表

順位	総合スコア	学年またはクラス	氏名
1	682	4E	水本 誠志
2	608	3B	多田 育久
3	601	1-2	尾柳 影則
4	571	3B	藤澤 良太
5	585	4C	北田 翔太
6	540	3年	
7	532	5年	
8	528	5年	
9	523	3年	
10	507	5年	
19	459		
25	439		
29	436		
34	420		
40	374		

## ■平均点は464点

今回のテストに、全国で高専生1,666名、高校生12,856名が受験しました。本校は希望者による受験ですので、平均点を比較してもあまり意味はありませんが、参考までに下に示します。(表2)

表2 平均点

	受験者数	語彙 (150)	文法 (150)	リーディング (300)	リスニング (300)	総合 (900)	高校総合	高専総合
1年	14	80	71	135	159	444	417	392
2年	5	77	65	146	143	432	419	407
3年	11	85	69	150	177	481	444	415
4・5年	13	86	68	162	168	485		
全体	43	83	69	148	164	464	420	405

## ■今後に向けてのアドバイス

英語力は、一朝一夕に身に付くものではありません。まずは、授業の予習・復習を欠かさずきちんと行うこと、辞書をこまめに活用すること、授業に積極的に応じること、例文を一つでも多く覚えて、それを口ずさんだり書いてみたりすること、というようなことを日常的にたゆまず行うことが肝心です。

テレビ・ラジオの英語番組や二ヶ国語放送を利用することもお勧めです。一つでもよいですから、自分のレベルに合った番組を見つけ、それを継続的に視聴してみてください。また、インターネット上にも様々な英語関連サイトがあります。

ACEテスト用問題集というのはありませんが、TOEICや英検などの問題集であれば、図書館で貸し出しをしてもらえます。

**本年度はACEテストを2回実施します。次回(12月)も奮って参加して下さい。**

## 第3回 ACE テスト結果 公開資料

平成17年1月24日

## 第3回「ACEテスト」の結果について

府立高専 英語科

## ■受験者数22名中、17名が500点突破

12月17日(金)に実施した、本年度の第2回ACEテスト(英語運用能力テスト)に22名が受験しました。後期中間試験の日程上受験できない学生がいたためか、受験者数は前回の約半数にとどまりました。その一方で、過去最低の受験者数にもかかわらず、500点を越えた人は17名(77%)おり、前回(23%)より増えました。TOEIC受験の目安となる600点を突破した人も5名(23%)おり、前回(7%)より増えました。なお、連続3回受験した人が5名、前回に引き続いて2度チャレンジした人が3名いました。2回以上の連続受験者は全員500点以上突破しており、そのうち6名(75%)が前回より得点が上昇しています。

表1 順位表

順位	総合スコア	学年またはクラス	氏名
1	672	3S	高木 智也
2	643	5S	永田 隼大
3	622	3S	藤澤 良太
4	603	3E	東 晴 哉
5	601	3S	小茂池 信吾
6	586	5年	
7	586	5年	
8	587	3年	
9	577	3年	
10	566	3年	
15	527		
20	457		

最高点は3S高木君の672点でした。(表1参照)

## ■平均点は561点

今回のテストに、全国で高専生1,000名、高校生7,600名が受験しました。本校は希望者による受験ですので、平均点を比較してもあまり意味はありませんが、参考までに下に示します。(表2)

表2 平均点

	受験者数	語彙 (150)	文法 (150)	リーディング (300)	リスニング (300)	総合 (900)	高校総合	高専総合
1年	3	89	84	166	171	492	462	436
2年	3	77	76	139	150	471	486	460
3年	12	91	89	186	207	572	492	471
4・5年	4	93	94	208	194	589		
全体	22	86	88	181	196	551	480	483

## ■今回のテスト問題より

以下の問題は、今回のテストに出題されていた空所補充の問題で、正答率の低かったものですが、自信を持って解くことができますか。解けない場合は、文法書や辞書で確認しましょう。

(a) ( ) tired you are, you have to complete the report tonight.

- (1) Although (2) Even if (3) No matter how (4) Whatever

(b) Mr. Collins is said ( ) a professional singer in the 1960s. But we do not know if it is true.

- (1) that he is (2) that he was (3) to be (4) to have been

(c) "Why did the accident occur in the factory?"

"Because they ( ) the safety checks."

- (1) determined (2) disturbed (3) neglected (4) notified

**次回のACEテストも奮って参加して下さい。**

## 第4回ACEテスト結果 公開資料

平成18年1月18日

## 第4回「ACEテスト」の結果について

府立高専 英語科

## ■36名が受験、最高は781点(900点満点)

12月16日(金)に実施した、本校での第4回ACEテスト(英語運用能力テスト)に36名が受験しました。全学生の10%近くが受験した初回を除き、「ACE、受けてみよう!」と思う人が全体の5%に満たないのは残念です。(第1回99名、第2回43名、第3回22名。)

最高点は5Eの水本君の781点(正答率86.8%)でした。(3回受験、3度の最高点。オメデトウ!日頃の努力の成果です。)2年生の梅崎さん、3年生の小島さんの健闘も光ります!(表1参照)

なお平均点は500点、学年別・分野別の平均点は(表2)のとおりです。(全国の高校・高専の平均点は資料が届き次第、掲示します。)

表1 順位表

順位	総合スコア	学年またはクラス	氏名
1	781	5E	水本 武 志
2	701	4S	藤 澤 良 太
3	626	4E	東 靖 義
4	621	2E	梅 崎 美 望
5	618	3A	小 島 真 葉 未
6	601	4年	
7	582	5年	
8	576	2年	
9	572	4年	
10	544	5年	
20	462		
30	417		

表2 平均点

	受験者数	語彙 (150)	文法 (150)	リーディング (300)	リスニング (300)	総合 (900)
1年	10	70	69	149	167	455
2年	7	75	75	153	175	477
3年	5	81	78	174	161	493
4・5年	14	97	83	197	182	508
全体	36	82	76	169	172	500

## ■TOEICを受験する前にACEテストで現在の英語力を知り、英語運用能力を伸ばそう!

ACEのスコアが660点以上で、TOEICのスコアが予測可能といわれています。**ACE×0.8 ⇨ TOEIC**  
例えば、ACEで660点をとった場合、TOEICならば520ぐらいのスコアがでるのではないかと予測できるのです。(660×0.8=520)

特に低学年の人は、まずは「ACEで600点」を目標にし、それが達成できたら、600点以上を目指しましょう。600点を超えるようになったらTOEICに挑戦して、努力の成果を測ってみましょう。

☆裏面に、スコアレポート中の各分野(「語彙」「文法」「リーディング」「リスニング」)のレベルに関する説明を載せています。今のレベルでどのようなことができるのか、レベルアップするにはどのような勉強をすればよいのかを考えながら、今後も英語の勉強をコツコツ続けていってください。

平成21年度 TOEIC Bridge® IP テスト結果 公開資料

平成22年2月1日

2～4年生の皆さん

英語科

## 平成21年度TOEIC Bridge (IPテスト)の結果について

12月に実施したテストの半年／全体の平均点・最高点・最低点や得点分布等をお知らせします。個人に配布したスコアレポートやスコアデータシートと照らし合わせて今後の学習の参考にしてください。  
 今回140点以上のスコアを上げた人(2年生14名、3年生26名、4年生38名の計78名)は、今年度創設された「TOEIC受験奨励制度」により、来年度前期中に校内で実施されるTOEIC(IPテスト)を1回無償で受験できます。詳細については別途連絡します。

## 【平均点・最高点・最低点】

	受験者数	平均点			最高点			最低点		
		Listening	Reading	Total	Listening	Reading	Total	Listening	Reading	Total
2年生	205	59.8	60.5	120.3	90	86	176	44	38	86
3年生	190	60.8	63.1	123.9	78	82	160	38	24	66
4年生	194	61.8	64.8	126.7	86	86	170	42	38	80
全体	589	60.8	62.7	123.5	80	86	176	38	24	66

## (参考) 昨年度(平成20年度)の平均点・最高点・最低点

	全国の高等専門学校						本校			
	受験者数	平均点			最高点	最低点	受験者数	平均点	最高点	最低点
		Listening	Reading	Total	Total	Total		Total	Total	Total
2年生	1919	58.9	58.7	117.6	188	30	196	122.4	154	78
3年生	2007	60.8	60.5	121.3	178	30	187	122.8	160	80
4年生	348	58.8	60.3	119.1	176	68	198	131	176	94
全体	6681	59.2	58.8	118	178	10	581	125.5	176	78

## 【得点分布】

	2年	3年	4年	全体
180	0	0	0	0
170～	1	0	1	2
160～	1	1	2	4
150～	4	2	10	16
140～	8	23	23	54
130～	33	37	43	113
120～	80	65	61	186
110～	57	42	35	134
100～	30	16	13	59
90～	9	1	5	15
80～	2	1	1	4
70～	0	1	0	1
60～	0	1	0	1
50～	0	0	0	0
40～	0	0	0	0
30～	0	0	0	0
20～	0	0	0	0
人数計	205	190	194	589

## 【成績優秀者】

順位	Total	所属学年
1	176	2年
2	170	4年
3	164	4年
4	162	4年
5	160	2年
5	160	3年
7	158	2年
7	158	4年
7	158	4年
10	156	2年
10	156	2年
10	156	4年
10	156	4年
10	156	4年

平成22年度 TOEIC Bridge® IPテスト結果 公開資料

平成23年1月19日

1～4年生の皆さん

英語科

平成22年度TOEIC Bridge (IPテスト)の結果について

12月に実施したテストの学年/全体の平均点・最高点や得点分布等をお知らせします。個人に配布したスコアレポートやスコアデータシートと照らし合わせて今後の学習の参考にしてください。  
 ※今回140点以上のスコアを上げた人(1年生5名、2年生14名、3年生25名、4年生40名の計84名)は、「TOEIC受験奨励制度」により、来年度、校内で実施されるTOEIC IPテストを1回無償で受験できます。詳細については別途連絡します。

【平均点・最高点】 個人用スコアデータシート上のデータは、学年別受験者数によっており、正しい平均スコアがでておりません。  
 ※正しいのは、以下のデータです。

	受験者数	平均点			最高点		
		Total	Listening	Reading	Total	Listening	Reading
1年生	200	119.3	60.6	68.7	144	78	76
2年生	203	121.6	61.6	60.0	153	82	86
3年生	203	124.9	63	61.4	174	88	88
4年生	198	128.1	64.9	63.2	174	88	90
全体	802	123.3	62.5	60.8	174	88	90

【参考】昨年度(平成21年度)の平均点

	全国の高等専門学校				本校			
	受験者数	平均点			受験者数	平均点		
		Total	Listening	Reading		Total	Listening	Reading
1年生	2703	113.7	57.9	55.8				
2年生	2421	118.9	59.9	59	205	120.3	59.8	60.5
3年生	2144	122.5	61.5	61	190	123.9	60.8	63.1
4年生	388	123.1	60.8	62.3	194	126.7	61.8	64.8
全体 (受験者数)	7763	118.2	59.7	58.5	589	123.5	60.8	62.7

【得点分布】

	1年	2年	3年	4年	全体
180	0	0	0	0	0
170~	0	0	2	3	5
160~	0	0	4	1	5
150~	0	4	4	10	18
140~	5	10	15	25	55
130~	34	36	39	48	159
120~	67	70	74	53	264
110~	97	93	44	41	195
100~	30	21	15	11	77
90~	3	6	5	3	17
80~	2	0	1	0	3
70~	2	1	0	0	3
60~	0	0	0	0	0
人数計	200	203	203	198	802

【成績優秀者】

順位	Total	所属学年
1	174	3年
1	174	4年
3	172	3年
4	170	4年
4	170	4年
6	168	4年
7	166	3年
8	162	3年
8	162	3年
10	160	3年
11	158	2年
11	158	2年
13	156	4年
13	156	4年
13	156	4年

平成23年度 TOEIC Bridge® IPテスト結果 公開資料

平成24年1月16日

1～4年生の皆さん

英語科

平成23年度TOEIC Bridge (IPテスト)の結果について

12月に実施したテストの学年/全体の平均点・最高点や得点分布等をお知らせします。個人に配布したスコアレポートやスコアデータシートと照らし合わせて今後の学習の参考にしてください。  
 今回140点以上のスコアを上げた人(1年生11名、2年生19名、3年生33名、4年生37名の計100名)は、「TOEIC 受験奨励制度」により、来年度、校内で実施されるTOEIC IPテストを1回無償で受験できます。詳細については別途連絡します。

【平均点・最高点】

個人用スコアデータシート上のデータは、学年別受験者数が出ており、正しい平均スコアがでない場合があります。

! 正しいのは、以下のデータです。

	受験者数	平均点			最高点		
		Total	Listening	Reading	Total	Listening	Reading
1年生	183	118.7	60.2	58.4	166	76	82
2年生	198	123.7	61.6	62.0	164	76	80
3年生	203	126.5	63.3	63.2	166	78	84
4年生	206	127.9	64.0	63.9	174	84	90
全体	770	124.5	62.4	62.1	174	84	90

【参考】昨年度(平成22年度)の平均点

	全国の高等専門学校				本校			
	受験者数	平均点			受験者数	平均点		
		Total	Listening	Reading		Total	Listening	Reading
1年生	2782	114.4	59.7	54.7	200	119.3	60.6	58.7
2年生	2498	118.8	61.5	57.3	203	121.6	61.6	60.0
3年生	2519	119.2	61.6	57.6	203	124.3	63.0	61.4
4年生	388	122.3	62.7	59.6	196	128.1	64.9	63.2
全体 (4,887)	8254	117.6	61.0	56.6	802	123.3	62.5	60.8

【得点分布】

	1年	2年	3年	4年	全体
130	0	0	0	0	0
170~	0	0	0	3	3
160~	0	0	0	5	5
150~	1	3	9	3	16
140~	10	16	24	28	76
130~	27	49	53	58	179
120~	44	73	63	69	245
110~	49	62	38	34	163
100~	22	19	13	11	65
90~	6	1	3	2	12
80~	1	1	0	0	2
70~	2	0	0	0	2
60~	1	0	0	1	2
人数計	183	198	203	206	770

【成績優秀者】

順位	Total	所属学年
1	174	4年
2	170	4年
2	170	4年
4	166	4年
4	166	4年
4	166	4年
7	164	4年
7	164	4年
9	158	1年
9	158	4年
11	156	3年
11	156	3年
11	156	3年
12	154	2年
13	152	3年
13	152	3年

平成24年度 TOEIC Bridge® IPテスト結果 公開資料

平成25年1月21日

1~4年生の皆さん

英語科

平成24年度TOEIC Bridge (IPテスト)の結果について

12月に実施したテストの学年/全体の平均点・最高点や得点分布等をお知らせします。個人に配布したスコアレポートやスコアデータシートと照らし合わせて今後の学習の参考にしてください。  
 今回140点以上のスコアを上げた人(1年生11名、2年生18名、3年生31名、4年生47名の計107名)は、「TOEIC 受験奨励制度」により、来年度、校内で実施されるTOEIC IPテストを1回割値で受験できます。詳細については別途連絡します。

【平均点・最高点】

個人用スコアデータシート上のデータは、学年別受験者数が違っており、正しい平均スコアがでていません。  
 ↓ 正しい、以下のデータです。

	受験者数	平均点			最高点		
		Total	Listening	Reading	Total	Listening	Reading
1年生	162	118.4	59.6	58.8	166	86	82
2年生	164	124.4	62.5	61.9	160	86	80
3年生	189	127.1	63.3	63.6	166	88	88
4年生	208	129.9	65.0	63.9	166	84	86
全体	723	125.4	62.8	62.6	166	86	86

【参考】昨年度(平成23年度)の平均点

	全国の高等専門学校				本校			
	受験者数	平均点			受験者数	平均点		
		Total	Listening	Reading		Total	Listening	Reading
1年生	3131	112.7	58.2	54.5	163	118.7	60.2	58.4
2年生	2572	119.6	61.1	58.5	198	123.7	61.8	62.0
3年生	2551	121.7	61.5	60.2	203	128.5	63.3	63.2
4年生	384	123.4	62.4	61	206	127.9	64.0	63.9
全体 (4,668)	8630	117.9	61.0	57.7	770	124.5	62.4	62.1

【得点分布】

	1年	2年	3年	4年	全体
180	0	0	0	0	0
170~	0	0	0	0	0
160~	2	1	2	6	11
150~	3	1	14	15	33
140~	6	16	15	28	65
130~	21	30	40	55	146
120~	44	65	69	64	242
110~	50	66	55	31	152
100~	25	14	13	9	61
90~	8	1	1	2	12
80~	1	0	0	0	1
70~	1	0	0	0	1
60~	0	0	0	0	0
人数計	162	164	189	208	723

【成績優秀者】

順位	Total	所属学年
1	166	3年
2	166	1年
2	166	1年
2	166	3年
2	166	4年
2	166	4年
2	166	4年
8	164	4年
9	160	2年
9	160	4年
9	160	4年
12	158	1年
12	156	3年
12	156	4年